



進路だより 第15号

ジャイロコンパス

宇都宮市立晃陽中学校

R4.9.12 発行

文責：秋場拓也

【各高校のホームページを活用しよう！】

夏休みが終わり、3年生については家庭での学習が本格化していることと思います。同時に、自らの進路についてよく考える夏休みであったとも思います。本年度は私立高校、県立高校ともに一日体験学習が実施されましたが、都合により参加できなかつたり、新たに気になる高校が出てきたりしている人もいます。そのような場合は、**ぜひ高校のホームページをご覧ください。**県立高校のパンフレットやweb 一日体験、学科、カリキュラム、特別活動等の情報も掲載されています。1・2年生については、「3年生になってから…」と悩むことのないよう、自主的な進路選択に向けて家庭で積極的に話題にしてみましょう。また、分からないことがあれば担任の先生に相談してください。



【令和5（2023）年度県立高等学校入学者選抜「特別の選抜」について】

新型コロナウイルス感染症により、県立高校受験ができなかった場合の「特別の選抜」について、教育委員会から通知が来ているのでお伝えします。

1 申請資格

令和5（2023）年度栃木県立高等学校入学者選抜全日制課程一般選抜、定時制一般選抜、通信制入学者選抜（以下「本検査」とする。）に出願した者で、次のア又はイの事由により本検査を受検できない者

ア 新型コロナウイルス感染者 イ 濃厚接触者（無症状かつ陰性が確認できた者を除く。）

なお、上記に該当しない体調不良者等及び濃厚接触者のうち無症状かつ陰性が確認できた者については、本検査当日、別室での受検となる。

2 申請手順

(1) 県教育委員会への連絡

志願者が、上記1のア又はイの事由により本検査を受検できないことが判明した場合、2月22日（水）から本検査当日の午前9時までに、中学校長を通じて県教育委員会事務局高校教育課指導担当に電話連絡する。

(2) 申請書等の提出

志願者が、「特別の選抜」の受検を申請する場合は、中学校長を経由して下表に示す所定の期日までに「受検申請書」を志願先高等学校長に提出する。また、「特別の選抜」の受検を申請しない場合は、中学校長を経由して所定の期日までに「受検辞退届」を志願先高等学校長に提出する。なお、「特別の選抜」を受検できるのは、本検査当日に受検を予定していた学校・学科とする。

3 検査期日及び検査会場

(1) 検査期日

- 宇都宮東高校の「特色選抜」について **※他の高校の「特色選抜」に対する「特別の選抜」はない**
宇都宮東高校は特色選抜でのみの募集となるため、3/8(水)に「特別の選抜」が予定されています。
- 県立高校の「一般選抜」・・・・・・・・・・・・・・・・・・全日制は 3/20(月)
- 定時制、通信制は、志願先の高等学校長が指定した日に行われます。

(2) 検査会場 志願先高等学校



【県立高校特色選抜の「募集する生徒像」ならびに「資格要件」について】

栃木県教育委員会より、県立高校の特色選抜の「募集する生徒像」「資格要件」が発表されました。各高校の「募集する生徒像」や「資格要件」は、毎年見直されておりますので、特色選抜での受検を視野に入れている場合は、高校が提示している要件等に自分が当てはまるかを確認することをお勧めします。詳しくは栃木県教育委員会 HP をご覧ください。

ホーム > 教育・文化 > 学校教育 > 入学選考・選抜 > 令和5（2023）年度県立高等学校入学者選抜に関するお知らせ

令和5（2023）年度県立高等学校全日制課程入学者選抜における「学校教育目標」「目指す学校像」「募集する生徒像」及び特色選抜の「定員の割合」「出願するための資格要件」「選抜の方法」「その他、特記事項」「選抜の手順等」について

【入試要項について】

受験する高校等の種類だけでなく、**受験の方法**にも種類があります。ここ最近、大学入試のあり方と同時に高校入試の方法についても変わりつつあります。宇都宮海星女子学院高校が、来年度から星の杜高校として新しくなりますが、入試の方法についても大きく変わるようなお話を頂きました。また、宇都宮市内の私立高校で、学科の配置やスライド合格の有無について検討され、毎年少しずつ変更があります。そういった入試の方法を簡潔に表した「**入試要項**」は、私立高校のパンフレットと一緒にもらうことが多いですが、パンフレットだけでなく、入試要項にもよく目を通して、自分がどういった方法であれば自分自身の実力を発揮しやすいのかを考えておくことも重要なことだと思います。なお、栃木県立高校については、上に示しました栃木県のホームページに掲載されます。10/4(火)の高等学校要項説明会(私立高校入試要項説明会・県立高校受検に関する説明)の際に説明を行います。

【進路は続くよ、どこまでも】

第1回進路希望調査の提出ありがとうございました。これから、11月の進路相談に向けて、何度もご家庭で相談を重ねて受験校を決めていくことになります。来年の4月に自分の希望する高校に入学できるように勉強していくことになりますが、晴れて希望校に入学できたとしても、でも、まだまだそこはゴールではない、ということを頭の隅に置いてください。**その先、「進路選択」はまだまだ続きます。**私の娘の高校では、2年生から文系コースと理系コースを選択することになっています。彼女は、1年の時に国語や社会(地理・歴史など)よりも数学や理科(化学や物理)のほうが興味があったので理系を選択しました。しかし、同じ数学・理科でも、文系と理系では学習する内容が大きく異なり、2年になって数学、物理、化学が急激に難しくなったのです。彼女は、理系の大学受験をあきらめ、理系コースにしながら文系大学を目指しました。でも、文系大学では社会科目の中から2教科の試験を受けなければならない学校が多いのですが、彼女は理系なので地理しか勉強していませんでした。彼女の受験できる大学は、ほんの少しに絞られてしまいました。このように、大学受験では、合格かどうかの前に、受験さえできないことがあるのです。私の子どもは、高校1年の時に学習内容が文系と理系でどのように変わるのか、つまり「**進路について調べる**」ことが必要でした。また、将来の夢(希望する職業)を持っていれば、どの分野に進むべきか考えることができたのかもしれませんが。かといって、一度失敗したら進路が途絶えるわけではありません。**夢や目標を見つけて、そこにつながる道を探していくことが最初の一步**です。多少遠回りかもしれない。でも、早いうちに失敗したことがこの先よい結果に結びつくことになるかもしれない。ありがたいことに、**道は何本も通っているのです。「過去は変えられない。しかし、未来は変えられる。」**という言葉のように、皆さんも目標を持って未来に向かって頑張っていくことを期待します。

